

【特定非営利活動法人 GP 農法推進プロジェクトの理念】

私達が生きる為に必要なものの中に、「地磁気」の存在があります。
その「地磁気」は全ての生きものが生きる上で大事な存在です。
元気・病気・気の病など「氣」と関係があります。氣が無くなると生きられないのです。

「氣」のある食べ物を摂取する事は、人間が元気に生きていく為にはとても大切なことです。
最近はその食べ物の「氣」が弱くなっています。

「氣」のある食べ物を食べることで、腸内微生物が働いて、消化、吸収して身体の健康を維持しています。「氣」のある元気な野菜は、元気な土壌の微生物が作り上げています。

GP農法推進プロジェクトは、人類が健やかな生活を送って幸せでありますようにと、土づくりの大切さ、食の大切さを追求しています。

ただ食べる為だけの作物ではなく、食べて元気になる「氣」のある作物を、安定した収穫で、増産できる「豊かな農業」を目指して、技術普及の為に活動をしていきます。

【GP農法の特徴】

- ① 農薬を全く使わない。
- ② 化学肥料を全く使わない。
- ③ 土壌微生物のパワーを上げて増殖し、その微生物のパワーを活用する。

慣行農法とGP農法の大きな違いは、使用するエネルギーの質です。
慣行農法は、育てようとする野菜の性質・特徴を個別によく研究して、それぞれの野菜にあった、窒素・リン酸・カリ等を与えて育てます。
それは、「人工的に作ったエネルギーの肥料」です。

GP農法は、いかに土壌微生物を増殖して増やし、土を肥やすかに着目して漢方の理論からのエネルギーを土に与えて育てます。
それは、「自然界のエネルギーをもった肥料」です。

ですから、個々の野菜への対応ではなく、どの作物にも、どの果実にも、適応します。
そして、肥えた土で作物を育てる結果、抗酸化作用に優れた日持ちのする作物ができ、公的な機関で成分検査を受けても栄養価が高いと評価されています。